


<p>内田 幸彦</p>	<p>生業 民俗文化財</p>	<p>① 経歴・職歴 民俗文化センター・生涯学習文化財課・歴史と民俗の博物館を経て、文化資源課</p> <p>② 過去の業務実績 H22第1回埼玉県民俗芸能公開事業運営 H23第53回関東ブロック民俗芸能大会運営 H24～26 県立博物館施設総合調整推進会議事務局を担当 H27企画展「蔵出し資料」運営 H28企画展「祝いの民俗」運営 R1埼玉県文化財保存活用大綱策定にかかる事務を担当 R3協議会に参加した白岡市・秩父市の文化財保存活用地域計画が県内初の文化庁長官認定 R4「木造飛天像」(秩父市)「木造釈迦如来立像」(美里町)の新規指定・「三峯神社」(秩父市)6棟の追加指定事務を担当</p> <p>③ 研究業績等 H15「埼玉県民俗工芸調査報告書 第14集 鴻巣の赤物」民俗文化センター(分担執筆) H17「埼玉県民俗工芸調査報告書 第15集 埼玉の船大工」民俗文化センター(分担執筆) H22(映像記録監修)「国指定重要無形民俗文化財 鴻巣の赤物ー民俗技術の記録ー」鴻巣の赤物保存会 R4「コレクションを比較する試みー二件の重要有形民俗文化財を通してー」『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第17号』</p> <p>④ メッセージ 指定文化財担当のグループリーダーを務めています。久しぶりに民俗文化財・無形文化財を担当することになりました。文化庁の京都移転は心細いですが、無形の文化財のコロナ禍からの復活の様子をしっかりと見届け、文化財が適切に保護されるよう、力を尽くしたいと思います。</p>
<p>うちだ ゆきひこ</p> 		


佐藤 夏美	民俗学 (衣食住・社会)	① 経歴・職歴 R3.4より埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員
さとう なつみ		<p>② 過去の業務実績</p> <p>R3 民俗工芸実演「桶作り」(歴史と民俗の博物館) R3 民俗工芸実演「漆刷毛作り」(歴史と民俗の博物館) R4 民俗芸能講習会「江戸里神楽 おかめ・ひよつこの舞」(歴史と民俗の博物館) R4 民俗工芸実演「川口和竿作り」(歴史と民俗の博物館) R4 企画展「銘仙」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③ 著作・研究実績等</p> <p>R3 「生活を中心とした住まい保存の一考察」(『歴史民俗資料学研究』26号) R4 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 IV』歴史と民俗の博物館(分担執筆) R5 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 V』歴史と民俗の博物館(分担執筆)</p> <p>④ メッセージ</p> <p>埼玉県の学芸員として二年目を迎えました。伝統を受け継ぐ職人の存在や地域性のある産業、固有の行事や食文化など、県内には魅力的な文化が多くあります。埼玉の歴史や文化を積極的に学ぶとともに発信に努めていきます。</p> <p>⑤ その他</p> <p>愛車のバイクカーで埼玉の気になるスポットめぐりをしています。</p>




人の生活を中心とした住まいの保存など、生活文化の保存に関心があります。

戸邊 優美	民俗学 (社会)	①経歴・職歴 H28 埼玉県立歴史と民俗の博物館 R3 文化資源課 R5 埼玉県立歴史と民俗の博物館
とべ ゆみ		②過去の実績 H30 企画展「田んぼー埼玉、人と水の風景ー」(県立歴史と民俗の博物館) H31 DVD『箕田の百万遍』(県立歴史と民俗の博物館) R2 DVD『今井・本川侯の廻り地蔵』(県立歴史と民俗の博物館) R3 特別展「銘仙」(県立歴史と民俗の博物館) R4 第64回関東ブロック民俗芸能大会(埼玉県大会) ③研究業績 H31 『女講中の民俗誌』岩田書院 R2 『無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事 総括報告書 I』県立歴史と民俗の博物館(編集・執筆) R2 「「民俗資料緊急調査票」の活用と埼玉県の食文化」『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』(14) 県立歴史と民俗の博物館 R3 『銘仙』(展示図録) 県立歴史と民俗の博物館(編集・執筆) R5 「埼玉県における麦食とその変化ー「民俗資料緊急調査票」を資料としてー」『国立歴史民俗博物館研究報告』(241) 国立歴史民俗博物館 ④メッセージ 近年は高度経済成長期の食生活の変化にも興味を持っています。食の世界は奥が深いと感じています。



<p>服部 武 はっとり たける</p>	<p>民俗文化財 諸職</p>	<p>① 経歴・職歴 県立民俗文化センター・県立博物館・県立さきたま資料館・さいたま文学館・県生涯学習文化財課、県立歴史と民俗の博物館・さいたま文学館、県立歴史と民俗の博物館・嵐山史跡の博物館、埼玉県平和資料館を経て令和5年より嵐山史跡の博物館</p>
	<p>近世末から近現代にかけての、竹細工の生産流通形態の展開を通じた民俗の変貌等</p>	<p>② 過去の業務実績 H12 「竹細工とところかわれば」展(県立博物館) H16 「東京近郊一日の行楽ー花袋が選んだ癒しの旅ー」展 H17 「装丁浪漫ーブックデザイン懐古ー」展 H18 「秩父文学の旅」展・H19「収蔵品展ー永井荷風コレクションから」展(以上さいたま文学館) H24 「職人のわざとカタ」展(歴史と民俗の博物館) H28 「平将門」展(さいたま文学館) R3～4「昭和の暮らしー戦前・戦中・戦後ー」・「寄贈資料展」(埼玉県平和資料館)</p> <p>③ 研究業績等 H6 民俗工芸実演「よしづづくり」 H6 民俗工芸調査報告書『竹細工』(共同執筆)・紀要執筆 H7 民俗工芸実演「蕨の篠竹籠づくりパイスケ」 H8 民俗工芸実演「足袋作り」(以上民俗文化センター) H9～H12 県立博物館紀要執筆 H11 吉川弘文館『日本民俗大事典』「パイスケ」の項執筆 H13～H15 さきたま資料館紀要執筆『埼玉で発明された民具』 (日高市の桑扱器等、特許の取得されている農具をフィールドワークと特許庁での取材等で調査) H20 P・Dクリエイティブセンター『包装の歴史』復刻・増補版の「段ボール以前の梱包材」の項執筆 H24 歴史と民俗の博物館紀要執筆等 H30 歴史と民俗の博物館民俗館調査報告種「巡り・廻りの民俗行事調査概報Ⅱ」 R2 『民具学事典』(日本民具学会編・丸善出版)「大量生産の民具」の項執筆</p> <p>④ メッセージ 民俗調査の基本は人からお話を伺うことです。先入観や権威主義に惑わされずに素直な気落ちでお話を聞き、そこから推定される事象を検証していくと、驚くような発見があります。その理由は人は近現代のことはなんとなくわかっている気になっているけれども、実は自分が生まれて物心着いてからの記憶や印象でしか過去を想像するのが難しいからだと思います。そして、様々な方のお話を伺っていると教科書やテレビ、さらにはネットからも得られないような宝の山が沢山にあることがわかります。昨年まで2年間在籍した平和資料館では昭和9年の雑誌にミッキーマウスの財布や時計などのキャラクターグッズを見て、県内ではミッキーマウスがどの程度知られていたのかに興味を持ちました。そして大正末生まれの行田の農家の方にお話を伺うと、昭和12年ころに行田にあった大正座という映画館でミッキーのアニメを見たとのことで、ミッキーの他にベティちゃんやポパイも戦前から親しまれていたとのことでした。このお話をしてくださった方は、かつてさきたま資料館(史跡の博物館の前身)で私にさきたまの年中行事や田植えを実地に教えてくれた方でもありません。今年は嵐山史跡の博物館で「昔の道具」の体験学習を行います。大正から昭和前半にこれらの道具を使いこなしていた人々は、印刷メディアや映画などに親しんでいた人々であったこともふまえて、現代にも結び付きを感じてもらえたらと思います。個人の研究では、箒や籠を調べておりますので、史跡の博物館ではありますが民俗に関連したお話しをしてくださる方も大歓迎(昨年何人かの方が来てくださり新たな視野を得ることができました)です。私にとっては全ての方が先生ですので、ご教示をどうぞよろしくお願い致します。</p>

町田 歩未	民俗学(生業)	① 経歴・職歴 H31.4より県立歴史と民俗の博物館
まちだ あゆみ		② 過去の業務実績
	地域産業の継承、お茶の流通構造	R1 ミュージアムフォーラム「木本作物農業の産地展開と現況」 R3 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」(歴史と民俗の博物館) R3 企画展「お茶を楽しむ」(歴史と民俗の博物館) R4 企画展「銘仙」(歴史と民俗の博物館) ③ 研究業績等 R3 『銘仙』(展示図録)歴史と民俗の博物館(分担執筆) R4 『お茶を楽しむ』(展示ブックレット)歴史と民俗の博物館(執筆) R4 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 IV』歴史と民俗の博物館(分担執筆) R5 「企画展『お茶を楽しむ』—他機関との連携事業も含めて—」(紀要第17号)歴史と民俗の博物館(執筆) R5 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 V』歴史と民俗の博物館(分担執筆) ④ メッセージ 令和5年度から学習支援担当に異動しました。子どもから大人まで、様々な人々に埼玉県歴史・文化を楽しく伝えられるよう、努めています。藍染め担当になりましたので、藍染めの魅力もお伝えできるように頑張ります。